

# 悲劇繰り返さない

## 語り部から教訓学ぶ

宮城県南三陸町を1月27日、元危機管理監佐藤健一さん(63)は「ここを越えたいとは思っても起りえぬ」と想定外への備えを呼び掛けた。

高さは約10メートルの津波が襲来した南三陸町戸倉地区では、児童らが出発時に避難ルートを示す旗を掲げ、津波の破壊力や震災の教訓を学んだ。

一行は津波の発生を予知し、気仙沼市立南三陸小学校を発生し、近くの同市杉ノ下地区を訪問、想定を超える津波で、高台避難した住民が多数亡くなった現場で手を合わせた。市の



多くの来館者が避難して助かった「高野会館」の屋上。津波はここにも押し寄せた＝1月28日、宮城県南三陸町志津川



多数の児童らが津波の犠牲になった杉ノ下地区では、遺族の話を聞いた1月29日、石巻市菅谷



津波で息子を亡くした田村弘弘さん(右端)は企業防災のあるべき姿を力説した＝1月29日、宮城県女川町鷺上浜



戸倉小の児童たちが駆け上がった避難ルートを示す旗を掲げる参加者＝1月27日、宮城県南三陸町戸倉

## あの日の被災地

南三陸ホテル観洋渉外部長 伊藤 文夫さん(73)



### 高齢者らを屋上に誘導

結核で「高野会館」(宮城・南三陸町)は、震災と津波から37人の命を守った場所として、取り壊さず残しています。

地震発生時は3階で高齢者の若年発表が行われていました。

15以上の津波で、(階建て会館の)屋上にも大人の膝ほどの水が来ましたが、従業員が高架水槽のある会館最上部分などに誘導し、一人の犠牲者も出ませんでした。

結核で「高野会館」(宮城・南三陸町)は、震災と津波から37人の命を守った場所として、取り壊さず残しています。

地震発生時は3階で高齢者の若年発表が行われていました。

15以上の津波で、(階建て会館の)屋上にも大人の膝ほどの水が来ましたが、従業員が高架水槽のある会館最上部分などに誘導し、一人の犠牲者も出ませんでした。

気仙沼向洋高教諭 山田 茂樹さん(52)



### 各地の災害わがことに

災害から命を守る要諦は、各地の災害を人ごとと思わないこと。旧校舎は震災遺構として保存されます。わがこととして考えてもらうために、ここを越えたい、津波の怖さを伝えたい。

気仙沼向洋高は南校舎が最上階の4階まで津波にのまれ、私は重要書類を4階に運び、屋上に避難。家が次々に流されるの目の前で、もったいないと泣きました。もう一度、生き残ったのは運が良かったと言いたくありません。

生徒は内陸の高台に避難し、難を逃れました。途中、腰を抜したり、過呼吸になったりした生徒もいました。怖かったです。

杉ノ下遺族会(気仙沼市) 小野寺敬子さん(55)



### 自己責任の思い持つて

より速くへ、より高くへ。聖霊碑に震災の教訓を刻みました。行政任せきりで駄目です。避難は自己責任で思いますが、危険を察知したら、とっさ逃げろ。何もなければそれでいいです。

気仙沼市の杉ノ下地区は驚天きりの高齢者をトラックで運ぶなど、住民のつながりや助け合いは完璧でした。諦めるしかないという思いです。

この悲劇を繰り返すな。大気が揺れたらすぐ逃げろ。練習を、子どもも高齢者も。防災に熱心な地区でした。壊